

# 歴女がゆく

発見！私のイチ押し仏像 VOL. 7

7

重要文化財

木造

弥勒菩薩坐像

平安時代／観心寺蔵

弥勒は釈迦の次に仏となること

が約束された菩薩で、釈迦の入滅後56億7千万年後の未来に姿を現して、多くの人々を救済するとされています。本弥勒菩薩坐像は、重要文化財となっており、像高は110.8センチあり、もともとは建掛塔に安置されていました。ヒノキ材の一木造りであり、髪を高く結び、ひきしまった顔に堂々とした体部が見られ、衣にみられる皺の表現も力強く彫刻されています。このような表現は平安時代前期によくみられるものです。なお、本像が安置されている霊宝館では、特徴の良く似た重要文化財の宝生如来坐像も見ることが出来ます。



## 仏像ZOOM UP! +

全体的に力強いおびおびと彫刻されており、一木造特有の内から張り出す力をみせている。また慈悲相と呼ばれるおだやかな表情が表現され、特に細く見開いた目は私たちに癒しを与える。

日本で唯一北斗七星を祀っている星塚。梵字入りの石は厳かな雰囲気です。



建掛塔近くにある星塚にて

## 仏像まめ知識 ⑦ 宗派と仏像

仏教には多くの宗派がありますが、宗派によっては本尊、あるいは至尊の仏像が決まっている場合があります。本市にもっとも寺院の数の多い真言宗では大日如来が本尊とされますが、実際には他の仏像が本尊となる場合もあります。浄土真宗では、阿弥陀如来が本尊とされ、禅宗では釈迦如来が本尊となる場合が多いようです。

大日如来



真言宗



浄土真宗

阿弥陀如来



禅宗

釈迦如来



楠木正成の討ち死により、建て掛けのままになったと伝えられる塔。壮大な物語性を感じます。



## 今月の歴女

帯屋美奈さん

観心寺は、毎年初詣に参拝していますが、今回新たに歴史建造物や伝承を知り、ますます魅力を感じるようになりました。また11月末のライトアップも、とても神秘的で素敵です。



河内長野駅から南海バスに乗車「観心寺」バス停下車▶午前9時～午後5時▶入山料 大人300円、小中学生100円

発行／河内長野市 編集／市長公室広報広聴課 発行日／平成25年10月1日  
市役所／〒586-8501 大阪府河内長野市原町一丁目1番1号  
☎0721-53-1111(代) FAX 56-1761 ☎54-1000(留守番電話)



広報かわちながの

平成25年(2013年)10月号(No.1080)

ホームページ <http://www.city.kawachinagano.lg.jp> Eメール [info-kuw@city.kawachinagano.lg.jp](mailto:info-kuw@city.kawachinagano.lg.jp)  
お知らせ電話で休日急病診療所の日程などを24時間案内中 ☎0120-930-073  
市役所開庁日時／月～金曜日午前9時～午後5時30分(土・日・祝休日・年末年始を除く)